

荻野獨園

とくあり  
とくあり

僧侶。文政二年八月清前國兒高郡山坂村生れ、明治

二十八年八月十日歿（八二九一九五）。諱承珠、字獨園、幼名勝五郎、通

稱元親。號相國獨園、萬年山主獨園、萬年退耕菴主人、退耕、退耕菴

主人等。天保元年得度。豊後の帆足萬里に就き儒學を修めた。明治二

年京都相國寺住職。福田行誠、たけふとせ鴻聖川、釋雲爾等と議りて大教院を設

立、院長兼禪門ニ京總管長となり、神佛兩道宗意を説き主張した。ま

た寺内に居士林を開き、伊達千廣、鳥尾小彌太、山岡鐵舟等京都の在

俗居士五十餘名を指導。

著書に、『山岡鐵舟居士傳』（明治二十二年九月二十六日京都・自刊）、

『退耕詩錄』全二冊（明治二十九年二月十六日滋賀・蘆津實全刊）等。